

出身の安藤美希  
披露し、地元か  
は「母国開催で  
につながった」

指す

次回のパリ五輪出する市関係者に向うんそのつもり。けがを治して、銅上を目指して頑張と意気込んだ。

成田空港周辺9市町の商工業者らで構成する「成田空港と地域の繁栄を目指す有志の会」は、地域の理想の未来を思い描いたマップ「成田空港圏 みらいのカタチⅡ」を作製した。空港機能強化が進む中、規制緩和を行う「国家戦略特区」の早期実現に向け、マップを住民らに配布し特区内容や会の活動を紹介している。

マップには、成田空港を地域の中心にして将来必要と思う施設を描いた。3年前に第1弾を作製したが、県が特区実現を提案していることや第3滑走路を新設する機能強化に一定のめどが立った現状を反映した。

## 延伸が進む圏央道に

# 成田空港圏の未来描く

「白井特産の梨」レゼントされた。長は「市民は喜ん子どもたちにも夢与えてくれた」と五輪メダリストにまずはゆっくりと手は「白井で市民五輪の前に『頑張わった後にも『お』と声を掛けても後援会の方々もサてくれた。地元のうれしそうな顔で



みらいのカタチIIを紹介する山崎会長ら(右)

# 特区周知へマップ配布

## 9市町有志の会

ついて、空港東側の芝山と多古町の境に物販やイベントができる「空港オアシス」を描

いた。一般道からも出入りてきて地域の商業拠点になり、第3滑走路が眼下に見られるた

め空港圏の象徴的な場所になるという。

水害などに強い内陸空港という特性を生かし、災害援助物資などの備蓄倉庫を有する「首都圏防災センター」も描いた。災害発生時に航空機を使って迅速に国内外へ物資の輸送、受け入れができるとした。リゾート地の整備や最寄り駅と空港の徒歩によるアクセス向上なども盛り込んだ。

同会はマップを約3万部発行し、9市町の道の駅や地銀などに配布。山崎和敏会長は「空港周辺地域の均衡ある発展に向け、皆さんに国家戦略特区について理解してもらえるよう広めていきたい」と話した。



協定により、災害発生時や発生の恐れがある場合、市からの要請を受けた同社が速やかにホテルを提供。仮設の宿泊所や診療所などに活用してもらう。新型コロナウィルス感染対策としても応用でき、昨年にクルーズ船で発生した集団感染の際には、対応に当たる医療従事者の休憩室などに使われた実績がある。

災害時の宿泊施設確保に向け、鴨川市は24日、移動可能なコンテナホテルを運営するアベロップ（市川市、岡村健史社長）と協定を結んだ。写真。

コンチナホテル  
災害時に提供

# 防災備蓄用ウェットタオル

7年

**保存可能！**

ノンアルコール・厚口・超大判  
32cm×30cm

※検査機関 ダイセルバリューコーティング株式会社

ノンアルコールだから赤ちゃんのお肌にも  
安心して、ご使用いただけます

**防災備蓄用 ウエットタオル**

EMERGENCY WET TOWEL

抗菌  
抗ウィルス  
消臭効果

An illustration of a person from the waist up, wearing a white towel around their waist. They are using a long, white, rectangular cloth to dry themselves, possibly a bathrobe or a large towel. The background is a light blue gradient.

# 一箱30本入り